

徹底した行財政改革等

～市の財務体質は大きく改善～

■行財政改革

効果額91億3千万円(H26～R4:9年間)

- ・企業誘致、ふるさと寄附金の推進
- ・事務事業の見直し
- ・人件費、時間外勤務の削減 等

■市税

3億円増／年(10年前と比較)

H24年度：84.8億円(人口65,469人 13.0万円/人)

R04年度：88.0億円(人口60,335人 14.6万円/人)

※10年で人口5,000人減→市税1.6万円/人増収

■市民病院

黒字化(H29年度～R4年度:6期連続)

※企業債残高 ピーク時161億円(H17)→67億円(R4)

■財政調整基金(市の普通預金)

残高 2.8倍増

H25年度末：16.0億円 (32位／37市)

R04年度末：45.0億円 (20位／37市)

※R4市民1人あたり約7.4万円(7位／37市)

■市債(市の借入金)

残高 減少 → 学校等へ投資大

※H30～R4 5年間で総額約28億円投資

(エアコン、トイレ洋式化、1人1台タブレット、
体育館スポットエアコン、プログラムロボット 等)

〈一般会計〉

H25年度末：59.8億円、H30年度末：49.5億円

R04年度末：59.5億円(34位／37市)

※R4年度末の残高は県下で4番目に少ない

※ピーク時219.4億円(H11年度末)

臨時財政対策債(地方交付税の振替)を除く通常の市債